

令和6年度
白山市立松任小学校

学校だより

みんなが「元気」みんなで「伸びる」



のびのび松小

自ら やさしく

力いっぱい

2025年1月8日 NO.11

あけましておめでとうございます

今日から3学期が始まりました。いよいよ令和6年度のまとめの3カ月間のスタートです。これまで子どもたちは、様々な学習や行事に取り組み成長してきましたが、これからは次の学年への進級、6年生は卒業を意識して学校生活を送ることになります。

さて、今年度は「巳年（みどし・へびどし）」です。「へび」というとなんとなくマイナスのイメージも浮かびますが、一説によると、脱皮して新たな姿に生まれ変わる姿が象徴となっており、このような意味から、巳年は新しく挑戦する年、過去の失敗も新たな成長へと変える絶好の年とされているそうです。

職員一同、力を合わせて子どもたちのために努めて参ります。保護者の皆様には本年もご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

目標を持って挑戦！ ～新しい気持ちでスタート！～

1月の元気プロジェクトは「目標を持って挑戦」と考えています。「目標を持つことのよさ」とは何かをインターネットで調べてみると、次のようなことが書いてあるページがありました。

『『目標』を持つことで、『やる気』がわいてきます。『意識』が変わってきます。意識が変われば『どう努力すればいいのか』『いつまでに何をすればいいのか』『やり方をどう工夫すればいいのか』などと『行動』が変わってきます。さらに、目標を持つことの最大のよさは『達成した喜びを味わえる』ことです。もし、目標が決まらない場合は、目の前にある課題に全力を尽くしてみましょう。結果が出れば、『もっと』という気持ちが高まり、少しずつ目標が定まってきます。』



私たち大人には、このようなことを知って子どもたちに関わったり、教えたりすることが必要なかもしれません。また、高学年になれば、このようなことを自覚して目標を設定することが大切になってくるのだと思います。プロ野球・大リーグの名プレイヤー「イチロー選手」は次のような名言を残しています。

ここまで来て思うのは、まず手の届く目標を立て、ひとつひとつクリアしていけば、最初は手が届かないと思っていた目標にもやがて手が届くようになるということです。

学校の教育活動では目標を持って挑戦することがたくさんあります。巳年の始まりにあたって新しい気持ちでスタートをしていきたいと思います。

さわやかなあいさつ「100%アップ計画」

松任小学校では、さわやかな挨拶を生活指導の基本とし、繰り返し指導をしています。校長の私自身も毎朝登校に合わせて玄関に立ち「おはようございます」の挨拶で子どもたちを迎えています。

おはようございます!!



先日、スクールサポート隊の会合に出席し、17年間、松任小学校の子どもたちを見守り続けている方のお話を聞きました。その方は「どうして17年間も続いたのかを考えてみると、子どもたちの挨拶で元気をもらえとるからです。今後でもできるだけ長く見守りを続けていきたいと思います。」とおっしゃっていました。私には大変グッとくるお言葉でした。

あいさつは人を元気づけます。互いにあいさつを交わすことで、互いに元気を与え合うことができます。「大きさ・回数・お客様」を合言葉に、100%アップの挨拶を進めていきたいと思えます。どうかご家庭でも挨拶のすばらしさや大切さをお話いただければ幸いです。

お知らせ① 2月6日（木）授業参観・臨時PTA総会 ご参加をお願いいたします。

お知らせ② 1人1台端末の家庭用充電器とその箱の有無を確認します。3月頃を予定しています。詳しくは各学年のお便りでお知らせいたします。